



●アイマスク体験



先週は、アイマスクによる視覚障がい体験とその介助方法について学ぶ福祉体験をしました。

14日(月)の事前学習と18日(金)の体験後のアンケートから、皆さんの気づきをまとめました。

1. ビデオをみて、新しく知ったことや気づいたことは何ですか。

- ・目が不自由な人は、普段の生活のことにも不安な気持ちになり、買い物に行くのにも大変な苦労があることがわかった。
- ・今までに点字ブロックの上に自転車を置いているのを見たことがあるが、点字ブロックの形の意味を知って、もっと気をつけて町を歩き、声をかけていこうと思った。
- ・前から点字のしくみを知りたいと思っていたので、知れてよかった。点字を使ってあんなにも早くすらと字が読めるなんてすごいと思った。私も勇気をもって声をかけようと思った。
- ・点字のタイプライターでノートをとっていることに驚いた。つえの使い方や点字を頑張って覚えていてすごいと思った。私だったらなかなか覚えられないと思う。

2. 体験を終えて、困ったこと・新しく気付いたことは？

- ・階段に登る前には、どこから段差があるのか、どのくらいの高さなのか、どのタイミングで足をあげるのかがわからず、階段が終わるときも同じように不安を感じた。まっすぐな道でも、何かにぶつかりそうな気がして怖かった。
- ・ちょっとしたでっぱりや段差がすごく怖かったので、道に物を置いてはいけないと思った。
- ・急に大きな声が聞こえた時、何が起こったのか分からず怖かった。普段から何が起きているかが見えない人は、もっと怖いのだと思った。
- ・目が見えていない状態で階段を上ったり下りたりするのが怖かったけど、声をかけてもらえるだけで、安心して上り下りできた。

3. 学校から自分の家までアイマスクで帰るとしたら、どのようなことで困ったり、どのような危険な目にあったりするのでしょうか？

- ・信号では歩行者用の信号が青になっても、車がたくさん通るからとても困ると思う。人に声をかけるのも勇気がいるし毎回となると苦労する。
- ・家まで帰るルートを覚えるのはとても大変だし、車が通る道を一人では帰れないと思った。
- ・信号があるところで赤なのに渡ったり、高架下の大きな道路を渡ったりするのが危険だと思った。電柱や歩いている人、自転車に乗っている人とぶつかったりすると危ないと思った。いきなり車が出てきたりしても危ないと思った。
- ・中学校までの間に点字ブロックがないところが多いので、色んなものにぶつかりそうだし、時間が普通の倍以上かかりそうだし。

4. 体に不自由な部分がある人に街で出会ったら、あなたはどんなことができますか？

- ・今まで目が不自由な人を見かけても何もしなかったが、アイマスク体験で見えないことがとても怖かったから、これからは相手の気持ちを考えてその場の状況を細かく伝え、助けになりたい。
- ・点字ブロックの上に物を置いたり、自転車を止めないようにする。目が不自由な人を見かけたら道をあける。
- ・信号のあるところで目が不自由な人を見かけたら、呼びかけて一緒に渡る。体の不自由な人がいたら声をかけて困っているか聞く。
- ・「大丈夫ですか」とまず声を掛けて、自分ができることがあれば、積極的にやろうと思う。



これからの生活の中で「困ったなあ」「一人では大変だなあ」と思っている人に気づいたときには、自分に何ができるのかを考えて、今回の体験を生かしましょう。また、自分が困った立場になったときには、手助けしてくれる人があなたの周りに必ずいるということも覚えておいてください。